

かんじやと医療

第
55
号

発行所
全国患者団体連絡協議会
 東京都清瀬市松山2丁目13の12
 〒180-04電話(0424)93-5871番
 郵便振替東京2-4152

 購読料 1部110円 6カ月分660円



写真募集

.....
 秋の自然や生活
 運動、文芸、文化等

おもな記事

- 1 健保改悪反対で国会議員
全患連 健保・公費で要請
- 2 職業病に新補償制度を
連載 新公費制度確立案
- 3 スモンの三団体統一
- 4 健保改悪で自社公民合意
さわやかな出会い
- 5 障害年金改正で一次請願
- 6
- 7

健保・公費改悪反対で要請

全患連 郵便料値上げ反対でも国会各議員に

健保改悪案の審議開始という緊迫した八日、全患連は、健保改悪案の廃案、公費医療の改悪準備に反対と郵便料第三種(障害者団体関係)料金の据置きを国会各党に要請しました。

四月八日、全国患者団体連絡協議会は、山本事務局長など幹事および各団体代表が参加し、健康保険・公費負担医療の改悪に反対するよう各党国会議員に要請しました。

四月八日、全国患者団体連絡協議会は、山本事務局長など幹事および各団体代表が参加し、健康保険・公費負担医療の改悪に反対するよう各党国会議員に要請しました。

この各党関係議員要請行動は、健保・公費問題で衆・参あわせて二十五名、郵便料問題では十二名の国会議員に要請しました。なお、全患連と全難連は五月六日に二次行動を行います。

全腎協第十回総会議案発表

腎疾患総合対策確立の運動と会員二万三千人を目標

「八〇年代を真に医療と福祉の時代に——全腎協では、三を終わる具体的な活動に入る方向を示しています。人工腎臓による透析治療には高額な医療費を要し、しかも年間五千人の勢いで増えつつあります。このまま増えつつ行くと、十数年後には現在(約三万五千人)の三倍近くに達することも予想されており、そつなと患者数に見合った医療供給体制、医療水準が維持されるかの問題が生じてきます。

「八〇年代を真に医療と福祉の時代に——全腎協では、三を終わる具体的な活動に入る方向を示しています。人工腎臓による透析治療には高額な医療費を要し、しかも年間五千人の勢いで増えつつ行っています。このまま増えつつ行くと、十数年後には現在(約三万五千人)の三倍近くに達することも予想されており、そつなと患者数に見合った医療供給体制、医療水準が維持されるかの問題が生じてきます。

また、「全国患者・家族集会」の開催について努力すること、来年の国際障害者年を単なるお祭りにならないよう、内部障害者の立場から発言を強めていくことを、総会議案として提案します。患者団体として最も大きな組織となった同会の質的向上とともに、他団体とい

全有協も六月総会

労災法改悪反対の運動を強化

全国職業性有害物障害患者協会は、六月二十一日(土)に、東京に於いて定期総会をひらく計画でいます。全有協では、この一年、職業病認定の成果や裁判のいくつもの勝利などの活動をまとめ教訓化すると共に労災法改悪反対運動を強化しようとしています。



なお、郵便料の据置き要請として、昭和五十一年一月十九日の全患連と郵政省とで約束のあった「第三種郵便料金の据置き措置を前提として、①患者、障害者団体発行の定期刊行物の

「八〇年代を真に医療と福祉の時代に——全腎協では、三を終わる具体的な活動に入る方向を示しています。人工腎臓による透析治療には高額な医療費を要し、しかも年間五千人の勢いで増えつつ行っています。このまま増えつつ行くと、十数年後には現在(約三万五千人)の三倍近くに達することも予想されており、そつなと患者数に見合った医療供給体制、医療水準が維持されるかの問題が生じてきます。

日患同盟の大会大阪で

五月二十五日より三日間開催

日本患者同盟は、五月二十五日から三日間、大阪で第七十三回定期大会をひらきます。

この大会には、北海道から沖縄までの各都道府県の組織から選出された代議員が参加し、結核公費医療廃止反対運動をはじめ、医療内容と生活環境の運動など、この一年の運動をふりかえり、その成果と教訓を明らかにします。

また、病気を治す権利、団結して運動する権利の確立をかがげ、十三年三月月にわたり不屈にとりくみ、高裁段階では全患連各団体の支援もいただいた高知・三柏園事件完全勝利の教訓を全国代表によって新たためて確認します。



大会は、福祉が退潮から大幅に後退の政策に傾くなかで、全国でたかまつている会員の期待にこたえ、患者、障害者、回復者の医療と福祉を守る運動を拡大強化する方針をきめます。

とりわけ結核政策をふくむ公費医療改悪反対の方針をきめ、これらの運動を推進するにきざ

沖縄県宮古で全国支部長会議

全患協 五月九日より四日間開催

第二十七回定期支部長会議が沖縄県の宮古支部で五月九日から十二日までひらかれます。

その前段に全国四ブロックで、ブロック独自の議題と本部提出議題が討議されます。

本年も四月上旬と中旬にひらかれました。

本部からは協議事項として①職員と患者の協力関係について②長島架橋について——を提出し討議されました。最終的には支部長会議で結論がだされま

また、「日患大会を成功させよう」と、地元大阪府患を中心に近畿地方協の各府県患で実行委員会がつくられ、いまうけいれ準備に全力をあげています。

いっぽう日患大会にむけ、各都道府県組織の大会や分会代表者会議がぞくぞくとひらかれ成

功しています。なお、日患本部はちかく全患連各団体へむけ案内状をおくり

祝電、メッセージを要請することにしています。

職員と患者の協力関係については、入所者の減少と高齢化がすすむ八氏病療養所の将来を考

えるとき、その重要性はますます強まっています。今、これをきっかけに話し合いを深

めて、相互の信頼関係を高め、いくよう努力する旨の発言がありました。

長島架橋については、岡山県尾久町の長島愛生園と邑久光明が話しあいをかきかねて、相互の信頼関係を高め、いくよう努力しあうことが強調されました。

職業病に新しい総合補償制度を

①職業性疾病の調査と研究、②職場に於ける職業病の発生原因の究明、③新しい職業病には新しい治療法を、④職業病患者への医療と生活の保障を書いてきた。

今回は、そのつぎとして

前回、新しく発生してきた職業病患者を対象にした補償制度の必要性として、それらが発見し、これは職業病であると診断をくだした調査内容は、いずれも、新しい職業病の治療法をつくる上での土台になるからである。

また、発見以来、今日に至る間の診療内容は、貴重なデータでもあり、他にさがしたくない基礎資料になるからである。

勿論そのデータの中には手術成功例もあれば、死亡例もあり、いまも治療をつづけているケースさえある。一つ一つの症状が毎回、これは職業病によるものであるという証明が必要だったし、幾多の裁判や訴訟に於いて業務上疾病として立証してきたものだからこそ、①職業病患者の調査と研究、②職業病発生の原因究明、③新治療法確立などは是非とも生かされなければならぬからである。

⑤医療専門家の経験と理論の総結集の必要性についてである。

その必要性については、新しい職業病の発生が、六〇年安保のあと経済の高度成長時に多種発生して以来、今日でもふえつつつづけているがその職業性か、一般老人性かの区別が問題になっている。

最近、CO中毒患者の平均年齢が65歳以上になり、症状が職業性か、一般老人性かの区別が問題になっている。

スモンの三団体統一

投薬証明なしも認定せよと

四月二十一日、三月初旬の寒さにもどつたような寒さの中で「スモン全被害者大統一行動」が二十三日まで展開されました。

四月初旬の寒さそれぞれ報告しました。どの報告者も三団体統一を評価し、当面の重要問題として投薬証明のないものの認定拒否する製薬三社への抗議と、厚生大臣交渉の成功を訴えました。

初日の二十一日は、全国から集った三団体（ス全協、ス連協、東京訴訟第一グループ）の代表が、厚生省正面玄関前にぎっしり座込みを行い、午後から統一集会を開きました。

その統一集会は、三団体から司会者が三人選ばれて進行をとつた。経過報告も三団体代表がその大臣交渉の間は、三団体

の中から、それぞれ患者が選られ「実態の訴えと決意表明」がつけられました。

支援にかけつけた各民主団体の代表が紹介され、みんなスモンの統一と闘いを評価すると共に、スモンの闘いから多くの教訓を学んだこと、決意の表明がありました。

全患連から、山本事務局長が参加し、患者の立場から共に頑張る決意をのべました。

大塚病院閉鎖まった

東京難病連などの運動で実現

難病患者などを治療していた東京都立大塚病院の存続（建替え前提）の運動が成功しつつあります。

昨年十月、突然、東京都の鈴木知事は、都立大塚病院の閉鎖を発表し、都民や多くの関係団体、現地で建替えを前提に医

体からいかりの声が上がっていました。

この問題について、東京都議会には、関係団体の反対運動により、八百万円の予算を計上し、都立病院整備検討委員会を設け、現地で建替えを前提に医

療需要などを調査することを承認しました。この間、リウマチなど難病患者の診療については他の病院で受けもつことになりました。

ただし、大塚病院の存続が最終的に決定されたものではありません。今後、検討委員会の調査と東京都の方針確定までは運動のいざこざが必要と思われま

連載。

(2) 対象となる疾病（医療などを公費で負担しなければならぬ理由）について。

① 国の政策によって発生した疾病、② 伝染病など、③ がんや各種難病あるいは心臓病など（前回）。④ 資本家と国家の責任で負担する疾病として

は、各種の被害被害者、企業で働く労働者の労働災害（死亡やけが）と各種の職業病患者、公害による被害患者がある。

この三種の患者は、その死亡、けが、発病の原因が、すべて資本家（企業）の業務行為によって発生したものであるから、当然、資本家の責任によって一切の費用を負担するもので、公的な健康保険や年金制度などは労働者や国民の保険料拠出によるものであるために、それらの制度で保障すべきものではない。また

してや患者（被害者）本人に一部費用負担をさせることは全くの間違ひではなからうか。

従って、公費によるかあるいは資本家の全額負担による医療費・生活費などを保障あるいは補償する制度の適用対象を明確にする必要がある。

も国の財政が赤字だから、自治体財政も赤字だからという理由にならない理由で、患者負担や被保険者に負担させてきた歴史があるからである。

ましてや、最近の政府各省庁のように、受益者負担が原則などという最もらしい間違つた理由にもならない理由によって、健康保険制度や公費負担制度の改悪は、全く不当なものであるからだ。

各種公費制度の費用を誰れが負担するのが正当かは、その対象疾病などの発生原因をおとした責任のところが、程度明確になってきたが、すでに現在では、医療費については、健康保険など医療保険制度の形体ができて皆保険の時代である。この事は、国民すべてが、それぞれ応分の医療費を保険料（免除）方式で負担している。

政府のいう「健康保険や公費制度をつかつて入院したから、診療をつけたから、患者負担は当然だ」というのは理由にならない。医療保険を使わなければ保険料を返す訳でもないだろつからだ。

来年は国際障害者年

新公費制度確立案

(3) 費用は誰れがもつかについて

公費負担あるいは資本家負担の疾病などの対象を明確化させた上で、それらの医療費や生活費などを誰れがどの範囲で負担するかを明確に区分しなければいけない。その理由は、やむを得ずと今まで



国際障害者年マーク

健保改悪で自社公民が合意

二十五日夜各党国会対委員長会議で

二十五日夜十時頃、健保法改悪案についての自民党からの第三次修正案がたされ、廃案を強く主張した共産党を除いて、自民、社会、公明、民社の四党が合意しました。これによって、連休あけの五月八日に衆院本会議可決、十四日には参議院本会議で可決成立する可能性が濃くなっています。

合意案の主な内容は、①本人の療養給付率を入院十割、通院九割とする、②家族の療養給付率を入院九割、通院八割とする、③ただし入院の場合は本人だけが給食費一日分千円(一カ月二万円)の頭打ちを徴収する、④高額療養費の支給限度額三万円を三万円にし、低所得者は一万五千円とする、⑤保険料は千分の八十を千分の九十一まで引き上げる内容です。

厚生省は、健保「改正」法案を是非とも通じたいとして、このほどパンフレットを発行しました。

その中で、差額徴収や付添看護料など保険外の患者負担について、つぎのように改善するとしています。

△差額ベッド▽全廃する考
えはないが、差額負担のいらな
いベッドを質・量ともに十分確
保する。また、従来から問題にな
っている私立大学附属病院に對し
ては、厚生省から本年一月、文部
省大学局長に對し、差額徴収の
改善についての要請をした、と
の要請に終りそうです。

差額室料で手をやく厚生省

健保改正を是非ともとパンフ発行

今の焦点は 役立てる

単身者受入れの住宅法改正

今秋を目標に地方条例改正の運動も

長い間、公営住宅には、患者
障害者、お年寄りの単身者は入
居できませんでしたが、
それが、障全協や全生連など
の運動によって、今国会に於い
てやっと法律改正が成功しそ
うです。単身者の入居が可能にな
ります。

今回の制度改正は、「老人、
障害者その他特に住居の安全を
図る必要がある者」として政令で
定める者」については、同居親
族がなくてもよいことに改める
ものです。

しかし、老人なら何才以上に
するとか、障害者の等級を何級
までみとめるのかなど、未解決
なものがあるために、政令案を
てきています。

三月一日 障害者が一人で飛
行機に割引き料金で乗れるよう
になりました。

今までは、付添者のいない障
害者は乗せないことになってい
ましたが、関係団体の運動が実
りました。

航空運賃の障害者割引は、
障害者手帳(第一種のみ)を持
っているものに二十五%の割引
きを本人と付添者の両方にみと
めていましたが、今回から本人
だけでもよいという事に改正さ
れました。

ただし、障害者手帳の第一種
所持者に限定されていますから
今後、第二種の手帳所持者に
も割引き制度を拡充していくこ
に運動の強化が望まれます。

単身でも飛行機料金割引く

三月一日より国内航空五社で実施

時事百科、小学館に難病解説

研究促進は学際的な科学者の役割が決定的

一九八〇年度版の時事百科、小学館に「難病」が、東京医科歯科大学難病疾患研究班の片平列彦博士によって書かれています。概要を紹介します。

難病

国の対策求めて患者運動を展開
スモンやバーネット病などが多発し、社会問題になったのは一九七〇年ごろである。

患者たちは、組織をつくり、病因や治療法の究明、医療費の公費負担などを訴える運動を展開した。

厚生省当局は当初「現代は八百八病で、どこから手をつけていいかわからない」との態度をとっていたが、患者運動の進展により対策を迫られ、七二年に「特定疾患対策室」をおき「難病対策要綱」を定めた。

研究を促進する諸要素

難病対策をさらに促進し、患者に役立たせるにはどうい

とが必要であろうか。第一に、難病対策を促進する最大要因は、ほかならぬ難病患者自身の要求と運動である。第二に、難病を

説明するうえで科学者の役割が決定的に重要で、研究の自主性、研究チーム運営の民主性、研究

結果の公開性が買われなければならぬ。その点で、研究発足後一年目にスモン調査研究班の学際的な運営は多くの教訓を残しているといえよう。第三に、

現在は「難病」の病魔に冒されていない国民も患者の実態に目を向け、進んでボランティア活動を行い、問題を認識していく必要がある。



本流

さわやかな出会い

四月二十一日、冷たいコンクリートの上での、さわやかな出会いがありました。

胸には、北海道スモンの会とか千葉、静岡も同じゼッケンをつけ、ノーマ・スモンのゼッケンは広島スモンの会の人々です。四月二十一日の朝厚生省の玄関めざして集ったが、マイクを持ち決意表明

四月二十一日、冷たいコンクリートの上での、さわやかな出会いがありました。

この日、ス全協、ス連協、東京第一訴訟グループの三団体統一行動が行なわれ、いそいそと厚生省玄関前のコンクリートに座込みがはじまりました。

被害者の責任ではないこと、ましてや投薬証明がないからといって補償を拒む製薬三社の態度は納得がいかないこと、最後の一人まで運動をつづけよう」と訴えました。

また、千代田区労協事務局長の丹下さんは、スモンの皆さんが厚生省の前では真実が話し合えるし、明るい気持ちになれるので座込みが好きだと云われるが、労働者もこのように闘うべきかとの挨拶もあり、さわやかな出会でした。

できた。

をししました。

演説ではない、つぎやくうな話し方でしたが真実さがよくわかり、さわやかな気持ちにさせられました。

患者運動

長 宏 著 勁草書房刊
定価 1,200円 160円

世界でもめずらしい、といわれる「患者運動」が、なぜ日本だけに発生したのか。人権意識をもって立ち上った患者運動の現状と課題を明らかにしています。必読の書。

お申込み 現金(切手も可)でお申込み下さい。
全国患者団体連絡協議会 東京都清瀬市松山2-13-12

「かんじやと医療」

ご購入のおねがい

本誌は、全国患者団体 さらすようお願いいたします。
連絡協議会(略称・全患 申込先 〒一八〇一〇四連)の機関誌です。
読者の皆さんから、患 東京都清瀬市松山
者や家族、一般の方々に 二一―三―二二本
ぜひ購読をおすすめくだ 誌編集委員会まで
購読料六ヶ月六六〇円

無年金者をなくして下さい

すすめる会 障害年金改正で第一次請願

「障害年金を改正し、無年金者をなくして下さい」という切なる願いをこめて、全国各地で署名運動が展開されました。



署名を山と積んで打合せ中のすすめる会(衆院議面)

「障害年金を改正し、無年金者をなくして下さい」という切なる願いをこめて、全国各地で署名運動が展開されました。

その署名をもって、四月八日、障害年金改正をすすめる会は、もって参加したのは、互療会、全交災、パーキンソン病友の会、全患連、全難連、神奈川難病連、日患同盟、全有協、ス全協、多発硬化症友の会、障全協、せき損連合会、全国肢障協の十三団体代表三十六名です。

国会に提出した署名は四万四千七二三名です。この署名を三班(衆議院第一議員会館、同第二議員会館、参議院議員会館)にわかれ、それぞれ、社会労働委員会に所属する議員さんをつね、請願の紹介をたのみまた、障害年金改正をいかに障害者や

患者がまっているかを切々と訴えてまわりました。参議院選挙も間近のこともある、各党議員(秘書)も、私たちの要求も実態に理解をしめ

しましたが、中には、党(自)と相談しなければ返事できないという議員さんもありました。

なお、第二次国会請願は、五月の八日(木)に実施する計画です。

すでに、第二次請願の署名と募金が多く寄せられています。一次だけで募金は十四万五千元集められました。ご協力いただいた皆さんに感謝します。

誌代送金のお願い

本誌ご購入の皆さんにお願いがあります。実は皆さんのご協力により購読者は相当ふえてまいりましたが、事務局が手薄のため、購読料の請求が出来ないでいます。申訳な

いと思えますが、決算をひかえておりますのでご送金下さるようお願いいたします。

ご送金の節は、郵便振替東京二一四一五二二でお願いたします。

医療ニュース

3月・4月

三月

▲一日 厚生省、医療用X線フィルムと歯科材料価格を引上げた
 ▲二日 厚生省、医療用X線フィルムと歯科材料価格を引上げた
 ▲三日 厚生省、医療用X線フィルムと歯科材料価格を引上げた

▲四月 全患連第二十四回幹事会を開き、健保・公費改悪反対と郵便料値上げ反対で各党要請を決定。
 ▲十五日 スモン全国連絡協議会、全日通会館で討論集会開催

▲十六日 障害年金改正をすすめる会(五十五団体)シンポジウム開催。三〇〇万人の力で生活できる年金を主題に年金制度解説と新しい障害年金制度案を討論した

▲十七日 全国患者・家族集会・実行委員会、健保と公費改悪反対で厚生省に申入れた

▲四月
 ▲二日 全患連 第三回全患連展望委員会を開催
 ▲八日 全患連 健保改悪反対、郵便料据置き要求で各党国会議員要請を実施

▲十五日 ゆたかな医療と福祉をめざす一全国患者・家族集会一幹事会が久方ぶりに五万名の署名提出
 ▲三日 衆院社労 健保審議に社公民同調し共反対

▲健保改悪法案の撤回と各種公

議に社公民同調し共反対

議に社公民同調し共反対

議に社公民同調し共反対

議に社公民同調し共反対



潰瘍性大腸炎の子供の親

東京都文京区 佐藤 光代

私の娘は潰瘍性大腸炎です。現在は二歳三カ月で発病は生後十一カ月でした。発病までは離乳も順調で健康そうの子供でした。

最初、原因不明の下痢で私大病院に入院、いつまでも良くならない不安から、国立大病院に移り、母子での病院生活も一年が過ぎました。転院してから二カ月で病名が「潰瘍性大腸炎」とわかりまし

た。先生は「いい薬もできて、昔ほど悪い病気ではなくなったが再発しやすく、大人の場合は一生付合」とのことでした。一時は膿粘血便の下痢と高熱に加えて、壊疽性膿皮症を併発し、助からないのではと心配で

そんな不安と焦りの中で、難病指定だから、同じ病気で苦しんでいる人がいるはずだ、と気づき探しました。

幸せなことに「あせび会」という難病者等の会に出合うことができ、同病の人が多く、個人的に話を伺ったりたいへん参考にになりました。

しかし期待していた妙薬などはなく、サラシピリンとステロイド等の服用で、長くかかるのだと覚悟しなければなりません。これから先のことを考えるとこの子を育てていく自信がなくな

なりそうですが、難病で苦しんでいるのは私だけではない。東京だけでも子供の同病者は四〇〇人位いるらしいと聞き、皆さんに勇気づけられ、学びながら努力していこうと思います。

いつも献身的に活動して下さいる役員の方々に感謝しています。ご連絡は〒110 東京都千代田区神田神保町一四〇、五十嵐ビル二下東京難病団体連絡協議会まで。(東難連より)

全国患者団体連絡協議会加盟組織

(互恵会)

〒105 港区西新橋3-15-10原色版印刷内

☎03 (433) 1641

(全国交通労働災害対策協議会)

〒171 豊島区西池袋1-4-5

☎03 (982) 7361

(全国腎臓病患者連絡協議会)

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル(第二)

☎03 (952) 5340

(全国心臓病の子供を守る会)

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル

☎03 (256) 8424

(全国ハンセン氏病患者協議会)

〒189 東村山市青葉町4-1-10

☎0423 (94) 1571

(全国職業性有害物障害患者協議会)

〒105 港区新橋6-15-4

☎03 (433) 2082

(日本患者同盟)

〒180-04 清瀬市松山2-13-12

☎0424 (91) 0058

(慢性一酸化炭素中毒患者会)

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5 代々木病院内

☎0493 (24) 1293 後藤克

患者・障害者の年金12章

渡辺 清著 B6判 400頁 1,500円 160
障害年金を中心に老令、遺族年金などと労災保険などの調整について、くわしく解説。
年金問題で必読の書。 鳩の森書房

ご注文は本誌編集委員会までおねがい
します。

便りと広告募集

本誌編集委員会

当編集委員会は、みなさん

のお便りと広告の紹介を 広告は、一段全部で二万
お待ちしております。 五千円、二段で三万円です。

お便りはどんな内容のもの 広告したいものがあれば、
のでも結構です。たとえば 原稿と共に料金をそえてお
皆さんやご家族の要望や訴 送りください。
えなどや写真でもよいで